



R コマンド

この章では、R で始まる Cisco NX-OS レイヤ 3 のインターフェイス コマンドについて説明します。

routing-context vrf

すべての EXEC コマンドの VRF 範囲を設定するには、**routing-context vrf** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

routing-context vrf *vrf-name*

no routing-context vrf *vrf-name*

構文の説明

<i>vrf-name</i>	VRF インスタンスの名前。name には最大 32 文字の英数字を使用できません。大文字と小文字は区別されます。
-----------------	---

コマンド デフォルト

デフォルト VRF

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

routing-context vrf コマンドは、すべての EXEC コマンド (**show** コマンドなど) の VRF スコープを設定するために使用します。この機能によって、EXEC コマンドの出力の範囲が、設定された VRF に自動的に制限されます。この範囲は、一部の EXEC コマンドで使用できる VRF キーワードによって上書きできます。

例

次に、EXEC コマンドを管理 VRF に制限する例を示します。

```
switch# routing-context vrf management
switch%management#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show routing-context	現在のルーティング コンテキストを表示します。